

平成22年7月6日

平成22年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第6回 7月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回と同程度の出現量であった。前年値および平年値と比べて多かった。

前年	平成21年7月1日	(7点の平均)	38.7 個
前回	平成22年6月17日	(17点の平均)	54.4 個
今回	平成22年7月1日	(7点の平均)	52.9 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より減少した。前年値および平年値と比べても少なかった。

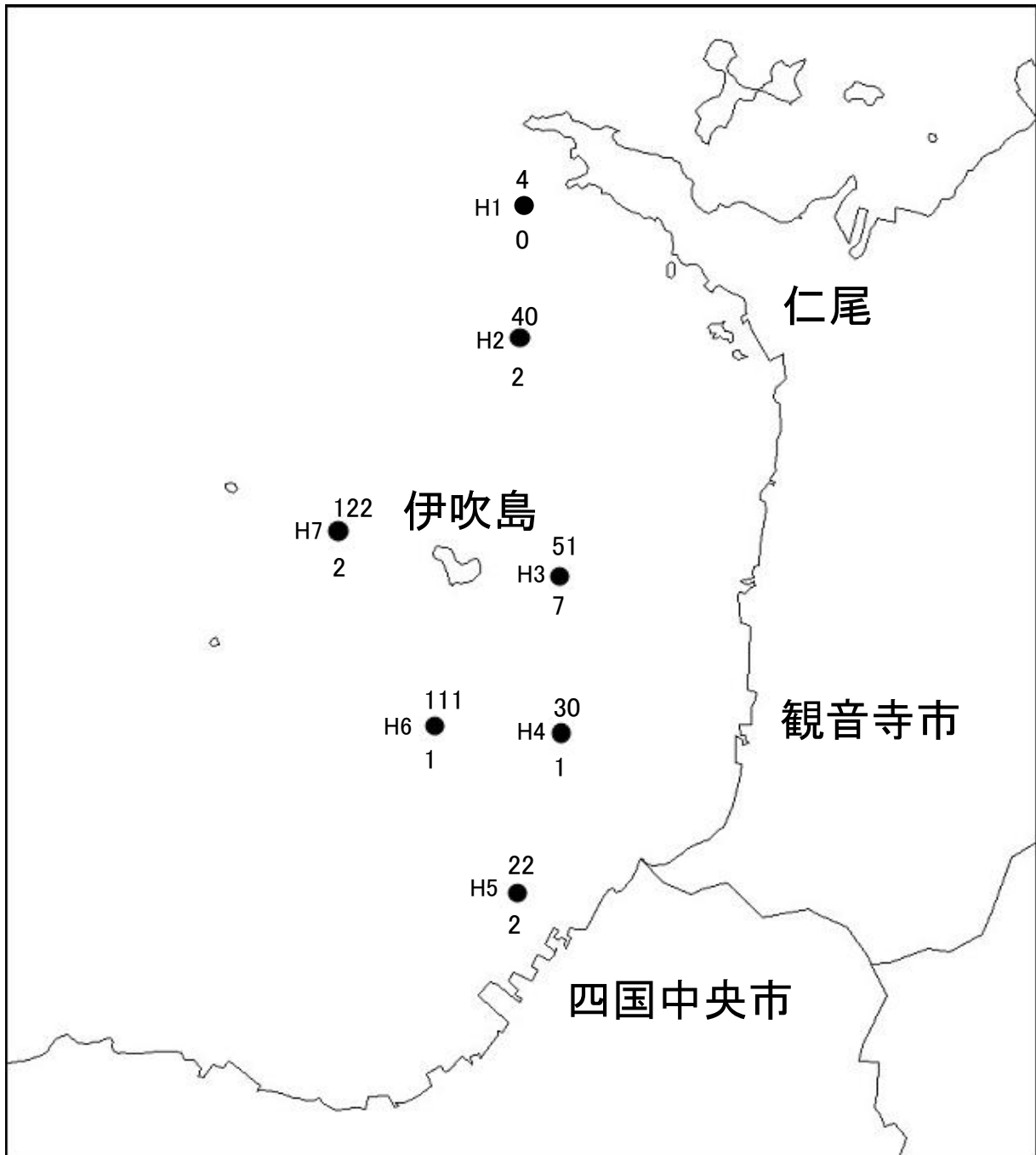
前年	平成21年7月1日	(7点の平均)	18.4 尾
前回	平成22年6月17日	(17点の平均)	17.0 尾
今回	平成22年7月1日	(7点の平均)	4.3 尾

○プランクトン調査

プランクトン量は平年よりやや少なかった。優占種は、前回同様にノクチルカ(夜光虫)であり、餌として重要なカイアシ類の量はあまり多くなかった。また、カブクラゲは全域で多かった。

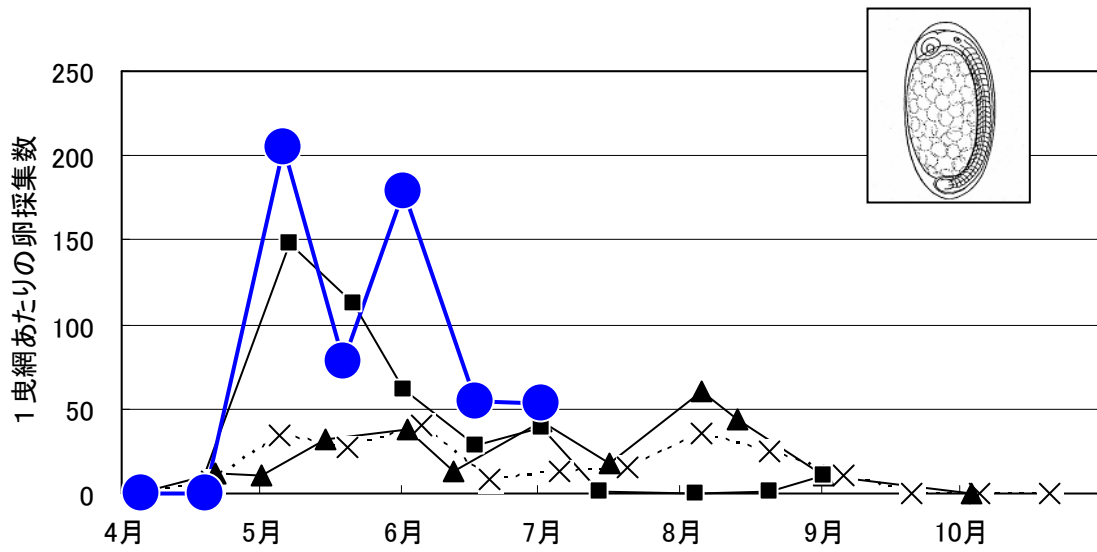
次回の調査は7月15日(木)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(7.1)

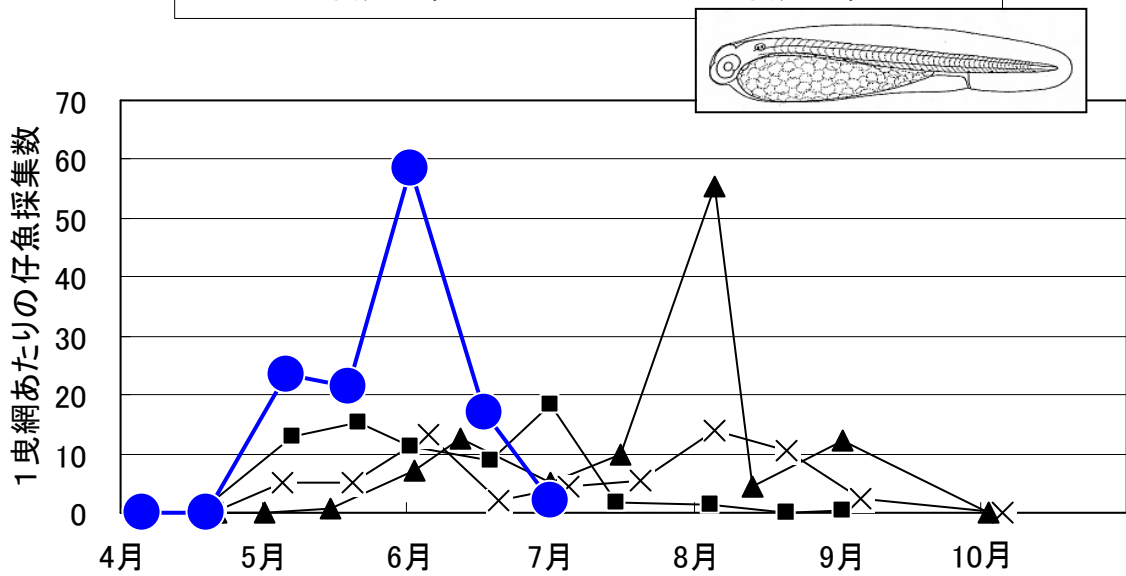
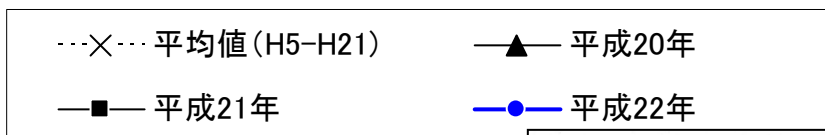


●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

